② 減損の認識に至った経緯

当該固定資産を使用した実験については終了しており、別用途での施設運用を行っておりましたが、本施設が特殊な構造であること、耐震工事が未実施であることに加えアスベストが存在していることによる職員の安全上の問題から、継続した施設運用には高額な費用が必要なことや敷地の有効利用等も踏まえ、平成25年９月の幹部会において解体撤去の着手をもって使用しないという決定を行っており、平成26年11月に解体撤去に着手したため、減損を認識しております。

なお、当該事業年度末において解体撤去工事は未了であります。

③ 減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

用　途	種　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
大気拡散実験棟	建物	—	178,916,482円

④ 回収可能サービス価額

当該固定資産は解体撤去工事完了後、処分を予定しているため、回収可能サービス価額は使用価値相当額として備忘価額により測定しております。

２）減損の兆候

① 使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用　途	種　類	場　所
生態系研究フィールドⅡ（実験ほ場）	土地、建物等	茨城県つくば市八幡台３

概要：生態系研究フィールドⅡにおいては、これまで実施してきた樹木の光合成測定、植生回復速度測定の研究を発展させ、近年重要な課題となっている地球温暖化のメカニズム解明や将来予測に欠かせない炭素循環、特に森林等陸域でのCO_2吸収・放出量の解明のための実験的研究が行われております。

② 使用しなくなる日

生態系研究フィールドⅡで行っている研究が平成27年度を目途に終了することから、その機能を研究所の敷地内を含む他の場所に確保し、現在実施している研究が終了した日としております。

③ 使用しないという決定を行った経緯及び理由

独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針（平成22年12月７日閣議決定）に基づき、上記②の内容及びその後速やかに国庫納付することとしております。

④ 将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

生態系研究フィールドⅡ（当事業年度末帳簿価額：土地1,788,590,880円、建物等37,406,022円）については、国庫納付の方法及び時期が決定するまでは回収可能サービス価額及び減損額の見込額を算出することができません。

〔損益計算書関係〕

ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は、△9,638,331円であり、当該影響額を除いた当期総利益は、127,154,404円であります。

〔キャッシュ・フロー計算書関係〕

１．資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	6,915,581,044円
資金期末残高	6,915,581,044円

２．重要な非資金取引

１）無償譲与による資産の取得	38,295,254円
２）ファイナンス・リースによる資産の取得	250,855,308円

〔金融商品関係〕

１．金融商品の状況に関する事項

資金運用については短期的な預金に限定しております。

未収債権については、概ね国（環境省）からの業務受託に係る未収金です。また、投資有価証券は、保有しておりません。未払債務については、一年以内の支払期日に係る未払金です。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

［単位：円］

		貸借対照表計上額	時　価	差　額
⑴	現金及び預金	6,915,581,044	6,915,581,044	—
⑵	未収金	3,966,753,240	3,966,753,240	—
⑶	未払金	(5,533,284,102)	(5,533,284,102)	(—)

(注)　負債に計上されているものは、括弧書きで示しております。

（注１）金融商品の時価の算定方法

⑴現金及び預金、⑵未収金、⑶未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

〔重要な債務負担行為〕

１．重要な工事請負契約、物品購入契約等

１）スーパーコンピュータを含むコンピュータシステム　一式	2,061,922,721円
２）独立行政法人国立環境研究所大気物理実験棟解体工事	394,200,000円
３）独立行政法人国立環境研究所ネットワークシステム　一式	239,199,450円
４）子どもの健康と環境に関する全国調査にかかる生体試料の保管業務	215,792,568円
５）電気・機械設備運転管理業務	200,232,000円
６）独立行政法人国立環境研究所屋上防水等工事	186,840,000円
７）独立行政法人国立環境研究所屋上防水等工事（研究第１，２棟）	180,360,000円
８）「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」に係るデータ管理システムに関する賃貸借等業務	143,984,304円
９）ＧＯＳＡＴ研究用計算設備保守業務	93,495,600円
10）国立環境研究所大容量磁気ディスク装置　一式	77,069,520円
11）「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」に係るデータ管理システムに関する運用・保守等業務	59,428,080円
12）廃棄物・廃水処理施設運転管理業務	50,544,000円
13）実験動物供給・飼育管理業務	46,008,000円
14）庁舎等清掃業務	43,156,800円
15）ＩＣＰ質量分析計　一式	36,990,000円
16）飛灰洗浄設備の解体手法に係る調査	36,180,000円

２．偶発債務

なし